

別紙

# 1村1自然エネルギー プロジェクト



平成31年3月15日

団体名 伊南バイオマス利用連絡協議会

職氏名 会長 春日知也



伊南バイオマス利用連絡協議会は、信州の自然エネルギー資源を活かした「1村1自然エネルギープロジェクト」を以下のとおり推進しています。

区分	摘要
取組の名称	地域産木質チップの施設園芸用暖房燃料利用プロジェクト
取組の主体	伊南バイオマス利用連絡協議会
取組の区域	駒ヶ根市及び隣接市町村
取組の構成団体名 (複数の者で構成する場合)	法人：大木木材株式会社、NPO 法人森林環境、駒ヶ根自動車産業株式会社、 個人：4名
団体設立年月日	平成30年4月2日
普及する自然 エネルギーの種別等	木質バイオマス
取組の目的	<p>取組目的は地域産木質チップの農業用ハウス等における暖房用燃料として利用する事業モデルづくり。</p> <p>施設園芸は市場の求めに応じて計画的に作物を出荷することができ、農業経営・地域産業の安定化や活性化にも貢献する重要な農業体系である。その一方で、冬季の暖房をはじめとするエネルギーの投入を必要とすることから、将来的にも持続可能な生産体系であるためには、化石燃料への依存からの脱却が求められている。暖房エネルギーのバイオマスへの転換は有望な方策である。</p> <p>本事業では、地域バイオマスエネルギーとして市内産木質チップの施設園芸における利用を中心とした活用の推進を目指す。</p>
地域関係者との協働 の内容	※有の場合は、連携内容について記載
プロジェクトの部門	①地域づくり、②ソーシャルビジネス、③開発研究、④その他(場作りなど) ※該当する箇所に○をしてください。
取組(事業)の段階	①構想段階 ②実施段階 ③発展段階 ※該当する箇所に○をしてください。

<b>取組の内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駒ヶ根市内イチゴハウスに木質チップ暖房機を設置して暖房性能評価。</li> <li>・市内産チップの生産・品質を実際に利用して評価。</li> <li>・市内産間伐材のチップ化と林業への波及効果検討</li> <li>・木質チップ流通のあり方を検討。</li> <li>・上記を踏まえ、農業をはじめとして諸産業における木質チップ利用の持続的な事業モデルを検討。</li> </ul>		
<b>事務局担当者の 連絡先</b>	<b>担当者所属</b>	<b>氏名</b>	春日知也
	<b>TEL</b>	070-5509-4901	<b>email</b> kasuga@komagane-ichigo.com
<b>ホームページ</b>	<b>(URL を記載)</b>		
<b>備 考</b>			

- ※1) 変更登録申請を行う場合は、変更箇所を下線を引いてください。  
 ※2) 記入欄が不足する場合は、必要に応じて適宜広げて記載してください。  
 ※3) 添付書類として、①組織規約・構成員名簿（市町村不要。）、②具体的な取組内容が分かる資料（スキーム・ホームページ掲載用の写真）、③その他参考資料を添付してください。



しあわせ信州

